

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスほーぷふる			公表日	2026年 3月 25日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学校休業日には外出活動を積極的に取り入れている。	指定基準範囲内ではあるが狭さも感じている。もっと広いと活動の幅が広がるので移転も視野に入れている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準より多く職員を配置しています。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		壁に黒板を作りタイムスケジュールがわかりやすいように書いている。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		整理整頓を心掛けている。加湿付き空気清浄機を常に稼働し窓も開けるようにしている。活動後は毎日掃除機、拭き掃除、消毒を行っている。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こどもが不穏になった時にはクールダウン出来る部屋がある。学習の際も使用出来る様になっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼でその日の課題を確認し合い終礼で振り返りを行っている。出勤していない職員にも伝達出来るようにグループLINEで共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの評価表を職員会議で検討会を行い課題を話し合っ業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝礼・終礼・毎月行っている職員会議で職員の意見を積極的に把握する機会を設け業務改善につなげる様になっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていないので今後の課題。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修には積極的に参加するようにしている。また毎月の職員会議で勉強会を行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成しホームページで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々のミーティングで個々のこどもと保護者のニーズを把握・共有し計画作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎月の職員会議で参加職員全員で検討会を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画作成後は全職員が計画書を確認し計画に沿った支援を行うように心掛けている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントが実施出来ていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの内容を踏まえ支援に必要な項目を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月の職員会議で参加職員全員で検討会を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムが固定化しないように心掛けていている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの状況に応じた個別活動と集団活動を組み合わせ計画を作成し支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼を行い支援内容や役割分担について話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を行いその日の振り返りや情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別の支援記録を取り保管している。問題点や課題点等を連絡ノートに記入し職員間で共有するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い計画の見直しの必要性を検討し必要があれば見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動を複数合わせて活動プログラムを作成し支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		こどもが自己選択出来るように心掛けて支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議等には必ず管理者が児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ関係機関と連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校送迎時に必要事項の確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じ情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じ情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			地域の児童発達支援センターとの連携が取れていない。今後の課題。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		公園に行った時に地域のこどもと交流している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		草加市障害児通所支援事業所連絡協議会に積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時に保護者とその日の出来事や今後の課題等について話し共通理解を持てるようにしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		関係機関から来る家族向けの研修会の情報提供は行っている。	家族に対して家族支援プログラムや研修会の開催が出来ていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に上記内容を丁寧に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		主に面談時に保護者の意思を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		最低半年に1回保護者と面談を行い「放課後等デイサービス計画書」を示しながら内容を確認頂き同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談時や送迎時またはLINE等で家族からの悩み等に適切に応じ助言と支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会の開催が出来ていない。今後の検討課題。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口を設け苦情があった場合に対応出来るようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月「ほーぶふる通信」を発行している。またインスタグラムで日々の活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いには留意するように職員全体で徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		漢字が苦手な方にはひらがなで伝えるようにする工夫をしている。言葉以外の方法でも伝達するようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		事業所の行事に地域住民を招待をした事はない。地域のお祭り等には積極的に参加するようにはしている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		左記マニュアルは策定し家族に周知している。また必要な訓練は実施できている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務改善計画（BCP）を策定し必要な訓練は行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約の際に服薬等の確認をしっかりと行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約の際に食物アレルギーの有無を確認し職員全体で共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し必要な訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練等を行った際には「ほーぶふる通信」で発信している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		小さな事でもヒヤリハットを作成するようにし情報共通している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に虐待防止委員会を開催し研修も行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置している。身体拘束の必要がある場合には保護者に事前に十分に説明し了承を得ることになっている。		